

「聖歌隊合宿に参加して」

マルガリータ 本多麻耶子

記録的な猛暑の続く東京を離れ、八月十九日より軽井沢での合宿が始まりました。からみつくようなねばっこい東京の風と違い、軽井沢の風は体をさらりと通りぬけていくようでした。

聖ルカハウスは合宿と言う言葉から想像していたのとは違って、明るくきれいで木の香りが鼻に嬉しいステキなハウスでした。もともと建て替える前はかなり古びた建物だったのですが。

朝七時の早禱が一日のはじまりです。朝は苦手な私ですが、清々しい空気の中での早禱は心まで清々しくしてくれました。

食事の時間とわずかな休憩時間を除いて、ほとんど練習に明け暮れる毎日でしたが、学生時代に戻ったようで楽しくて時の過ぎるのが早く感じられたほどです。夜九時の晩禱の後はお楽しみの時間。

みんなでワインやビールを飲みながらわいわいオリンピック観戦をしました。井原先生もそれは楽しそうにご覧になっていらして、

楽しいことをしたり見たりすることは何にも勝る薬と思いました。

二十二日の本番の日は今にも雨が降り出しそうな肌寒い日でしたが、キャソックスを着用する私たちには嬉しい陽気でした。

練習では不安のあった箇所も間違えることなく、ソロを歌った方たちも堂々とした美しい歌声を響かせてくれました。

出来云々はともかくとして、主にある仲間同士、心をあわせてこの日の為に励むことが出来たのは、何よりも嬉しいことでした。

神様は喜んでくださったでしょうか。私にとって初参加の合宿でしたが、本当に楽しく有意義な時を過ごせたことを神様に感謝いたします。

ただ毎日おいしいお食事ですい食べすぎ、目方が二キロも増えてしまったことだけが反省点でした。神から与えられた糧を食しただけなのですが…。

